

ヘルパーステーション



ヘルパーとしての技術や知識の習得、倫理、接遇、制度の理解のため、定期的に法人研修と部内研修を実施しております。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、以前行っていたように全員が集まつての研修は出来ませんが、ZOOMやその他動画配信での研修や、資料を配布して解答やアンケートを提出してもらうなどの方法をとっています。コロナ禍においても「栄養・食事の管理、低栄養について」「看取り・緊急時の対応」「訪問介護におけるルールや制度」等、日々の支援に必要な知識や技術を学び、利用者様の支援に活かせるよう努めています。

居宅介護支援事業所・地域包括支援センター

皆様、オリンピック、パラリンピックも終わり、すっかり秋らしくなりましたね。

マスク生活も2年目、息苦しさでストレスが溜まる毎日ではないでしょうか。

今回は悪い呼吸と言われている、「口呼吸」と「浅い呼吸」を改善する体操をご紹介します。

マスクをしている事で口呼吸が増え、口腔機能が低下します。“ブクブクうがい”は口腔機能と誤嚥性肺炎の予防になると言われています。歯磨きの時に、頬全体を膨らますイメージでいつもより長めに(10秒以上)うがいをしてみましょう。

そして、肺呼吸アップの体操です。



- ① 両手を頭の後ろで組んで三秒鼻で息を吸う。
(肺の周りの筋肉が横方向に伸ばされる)



- ② 口で六秒かけて息を吐き、手を上に伸ばす。
(今度は上方向に伸ばされる)



上記のストレッチの効果は、早い人で一週間程で効果が出てくると言われています。テレビを観ながら是非試してみてください。

その他

ケアタウン成増に対するご意見、ご要望などありましたらお気軽にお声をかけてください。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

次号は1月上旬発行予定です。お楽しみにして下さい。

▶ <https://misono-fukushikai.or.jp>

ブログやインスタグラムも随時更新しています。是非ホームページよりご覧ください。

たんぽぽ通信
バックナンバーはこちら



ケアタウン成増
ホームページ



たんぽぽ通信

令和3年10月発行 第55号

社会福祉法人みその福祉会 ケアタウン成増



コロナ禍で敬老の日を迎えるにあたり

社会福祉法人みその福祉会 理事長 坂本 寛

新型コロナウイルス新規感染者数が大幅に減少し、9月30日をもって東京都における緊急事態宣言は解除されましたが、変異型ウイルス等の影響により2回の新型コロナワクチン接種後に病院や高齢者施設においてクラスターが発生した事例もあり、当施設ではご利用者及び職員においては既に2回の新型コロナワクチン接種が完了したものの、週1回のPCR検査を実施するなどの感染防止対策を今後も継続的に行う予定です。今後、第6波の発生に備えて抗体カクテル療法の拡大と治療薬としての飲み薬が早く且つ安全に服用できる環境が出来ることが望されます。

このような環境の中、コロナ禍において二度目の「敬老の日」を迎えることとなりました。敬老の日ににおいて全国の100歳以上の高齢者は過去最多の8万6510人となり、日本はまさに「100歳時代」に入りました。その象徴として香川県の炭山ウメノさんと大分県の児玉コウメさんの双子の姉妹が107歳300日を迎えた「最高齢の双子」として、めでたくギネス認定を受けられました。

当施設において昨年と同様、ご利用者と職員のみでささやかながら敬老会のお祝いさせていただきました。長寿の節目の年(101歳以上、95歳、88歳)ご利用者には今年も板橋区より祝品を頂き、敬老会にて紹介させていただきました。日本では古くから「お年寄り」などという言葉には自然と敬意が込められており、年長者を敬い、その方らしい生き方をコロナ禍においても支援することがとても重要であると考えています。

ご関係の皆様にはこれからもご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げるとともに、くれぐれもご自愛いただきますよう心よりお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム・ショートステイ

夕涼み会・納涼会



毎年8月に行っていた納涼会ですが、昨年に続き今年もコロナウイルスの影響で中止となってしまいました。その代わりとして特養では、ご利用者様に楽しんでいただけるように小規模ではありますが、7月と8月の2回に分けて、夕涼み会と納涼会を行いました。

夕涼み会では、スイカ割り・ボール当て・ヨーヨー釣りを行いました。スイカ割りでは大きなスイカを使用したという事もありなかなか割れませんでしたが、徐々にヒビが入っていくスイカを見て、皆様ワクワクした表情で見守られていました。割れたスイカは、皆様で召し上がっていただき、「甘いね」「美味しいね」と笑顔が溢っていました。

納涼会では、ボール入れ・ボーリングを行い、ポイント制にして楽しんでいただきました。皆様、優勝を目指して真剣な表情で挑戦していました。

どちらの会も、皆様満足していただけたようで、「楽しかった」など笑顔で仰られていました。

施設全体での納涼会に比べると規模は小さくなってしまいますが、例年のものにも引けをとらない満足度があつたのではないかでしょうか。

来年こそは、ご家族や地域の皆様と一緒にになって楽しめる納涼会が開催できることを願っています。

ハード交付金を活用し非常用自家発電設備を導入しました



災害時においても施設運営を最低3日間(72時間)持続可能にすることを目的として、ハード交付金の「高齢者施設等の非常用自家発電設備整備事業」を活用し、非常用自家発電機を設置させて頂きました。

※ハード交付金…地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金 ※総事業費:5,236万円(補助金額:3,894万円)

デイサービスセンター

とれたてインゲン試食会



5月にアグリカルチャー倶楽部で植えたインゲンを収穫しました。雨続きで中々ベランダに出られなかった為、八百屋さんよりちょっと大きめのインゲンがとれました。厨房の調理師さんにお願いして、サッと茹でてもらい皆で試食。マヨネーズ又は塩をお好みで付けてパクリ!「美味しい!!」ほんの少しでしたが柔らかくて美味しい旬のインゲンを堪能できました。

暑中見舞いが届きました



7/8(木)志村学園の生徒の皆さんから素敵なお見舞いが届きました!!

早速デイフロアに飾らせて頂きました。湿気の多い毎日に爽やかな風が吹いた様で嬉しいです。ありがとうございました。

志村学園とは5年前からレクリエーション活動にて交流を深めてきました。去年頂いたレクリエーション動画は何回も見て楽しませてもらいました。コロナが落ち着いたら志村学園にまた伺いたいと思っています。

志村学園の皆さんにお会いできる日を心待ちにしております。

競輪補助事業を活用し10年以上使用した送迎車両を更新しました

このたび公益財団法人JKAの2021年度競輪補助金事業に申請し、送迎車両の更新をさせて頂きました。

今後も安全と安心の送迎を心掛け、多くのご利用者の暮らしを支え、生きがいを感じて頂けるようなデイサービスを目指したいと考えております。公益財団法人JKAをはじめ、関係者の皆様に改めて感謝の意を表します。

事業名: 福祉車両の整備

購入品名: 日産NV350キャラバンチエアキャブ
(QR25DE)

総事業費: 371.6万円(補助金額: 225万円)

